

実践記録（小6・国語）

1 ねらい

タブレットの使い方について、理由や根拠を示した意見文を書くことができるようにする。

2 手立て

- ・ タブレットを活用してきた中で便利だった使い方や機能について、ロイロノートを使用して共有することで、様々な考えの中から意見文としてまとめるテーマを決めることができるようにする。
- ・ タブレット活用の良い点や悪い点に注目させることで、様々な視点で情報を整理することができるようにする。

3 実践の様子

児童に今までのタブレットを活用した事例を想起させ、便利な使い方や機能について共有した。【資料1】授業で活用した内容のほかに「スクラッチ」や「ブラウザのタイピングソフト」などの意見が出た。はじめは自分の意見がもてなかった児童も共有の中で、様々な考えに触れ、自分の意見をもつことができた。

次に「でも、みんなはやっている、他のクラスや学年ではまだできないこともあるよね。」と伝えると、最高学年として一生懸命タブレットと関わってきた本学級の児童からは、「やり方を自分たちで伝える必要がある。」という意見が出た。そこで、自分が特に便利だと思っているものや、使っていく方が良いと思っていることに対して、調べ学習を行った。ロイロノートに良い点（青カード）と悪い点（赤カード）を分類しながら、まとめた。【資料2】

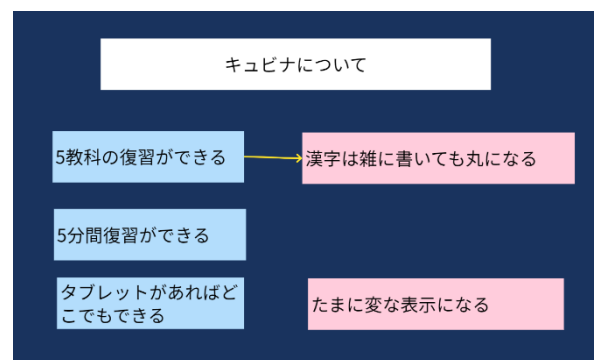
調べ学習を進めていくと、タブレットの悪い点も増えてきたので、意見文にまとめる際には、「良い点がある一方で悪い点もある」といったように、二つをセットで扱うようにすることで、意見文が「使い方に気を付ける」というだけの内容にならないようにした。

4 成果と課題

- タブレット活用の良い面と悪い面をセットにして考えさせたことで、一つ一つの機能や使い方に対し、便利な部分や使用するときの注意点など、複数の視点で考えることができた。
- 調べていく中で、必ず良い面と悪い面がセットになるわけではなく、情報が偏ってしまった児童がいた。

SCRATCHの使い方	キュビナについて
検索サイトのグーグル、ヤフーの様々な利点について	最小化
グーグルの簡単に出来るスクロールの仕方	キュビナの5分間復習について。

【資料1】便利な使い方の共有



【資料2】調べた情報を分類する